



わかむぎ

No.5 令和5年9月4日 発行/古屋正樹

秋空の下

天高く舞う若人たち
今はまだ 心も体もばらばら
ここからの1週間で勝負



実りの秋、2学期スタート！

あっという間の夏休み、みなさんにとってどんな夏だったでしょうか。もしかすると、学習・部活・課題に追われることが多かった夏かもしれません。そんな中でも、地域の祭りに参加したり、家族とのイベントを楽しんだり、友だちと遊びに興じたりと、きっと「自分の大切な時間」を思い思いに過ごしたのではないのでしょうか。「あっという間」は、言い換えれば「充実していた」証拠とも言えます。この夏の充電を経て、熱く2学期に臨みたいと思います。

2学期は授業日数が81日間あり、1年の4割を占めます。日数が長い分内容も濃く、学園祭を皮切りに様々な活動が目白押しとなります。3年生は進路、2・1年生は新人大会もあり、一人一人にとってきっと充実した2学期になることでしょう。一日一日を大切に、自らの手で実り多き秋にしてくれることを願っています。

さて、日中の暑さは厳しいものの、秋の気配を確実に感じるようになりました。朝夕の頬をなでる涼しい風、心地よく響く虫の声、「秋来ぬと 目にはさやかに見えねども 風の音にぞ おどろかれぬる (古今和歌集)」、まさにそんな時期になりました。皆さんは、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、食欲の秋、実りの秋…、どんな秋にしますか？



『地域協働防災訓練』への参加

平成27年から始まった「町防災訓練」への参加も、今年で8年目を迎えました。地域防災の知識や技能、地域防災に対する関心を育成し、地域の一員としての意識を高めることを目的としてスタートしたこの活動も、現在では、事前の綿密な打ち合わせから参加(参画)させていただき、地域の一員として自覚を持って取り組むことができています。

当日は、地域の皆さんと協力し、放水訓練や消火訓練、テント設営や救護訓練、炊き出し訓練など、随所に地域の方とともに汗を流す、真剣な姿がありました。また、2年生が学習の中で取り組んできたDIG* (災害図上訓練)の発表も行い、地域の方から「地区の災害の様子がわかったよ」「〇〇へ避難すればいいんだね」といった声も聞かれました。

このような中学生の姿に、地域の方からは「頼もしいね」「何かあったら頼むよ」といった押中生に期待する言葉をたくさんいただきました。この言葉からもわかるように、**地域からの期待**は非常に大きく、地域に住む中学生が地域の担い手となることは、**地域の活性化**にもつながることになります。「地域への貢献」が育む「地域との絆」、そして、「地域の一員」としての意識の醸成と、その効果は計り知れません。学校では、常々「地域に貢献できる生徒(学校)になろう」と声高に伝えていきます。これまでは、どちらかというところ「地域に支えられてきた学校」であったかもしれませんが、これからは**「地域に貢献できる学校」**になっていくことが、**私たちの目標**です。



*DIG: 地図や見取り図に直接書き込むことで、自分の地域や住まいに潜む災害の危険性を「見える化」し、防ぐためにはどうすればよいかを考える頭の防災訓練。

生徒発信の「除草作業」

夏休み期間中の8月19日、生徒から発信された除草作業が行われました。昨年度までは、学校応援団である「さくら会」の皆さんが中心となり進められてきた活動ですが、今年度からは、美化環境委員会の生徒が中心となり、さくら会や保護者へ呼びかける形として実施しました。

当日は、210名ほどの生徒に加え、40名ほどのさくら会・保護者の皆さんにご参加いただきました。1時間ほどの除草作業でしたが、軽トラックに積みきれないほどの雑草が取り除かれ、グラウンドが見違えるほどキレイになりました。一人の力は小さいですが、それが大勢ともなるととても大きな力となります。ご協力いただいたさくら会の皆様、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

